

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名            |   | 設置認可年月日                   |              | 校長名                |  | 所在地   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
|----------------|---|---------------------------|--------------|--------------------|--|---|-----|--------|---|------|------|--------------|---|-----|-----|--------------|---|-----|-----|
| 西鉄自動車整備専門学校    |   | 昭和52年12月1日                |              | 椎葉 小夜子             |  | 〒816-0922<br>福岡県大野城市山田3-12-1<br>(電話) 092-581-7435 |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 設置者名           |   | 設立認可年月日                   |              | 代表者名               |  | 所在地   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 学校法人 西鉄学園      |   | 昭和37年2月27日                |              | 中尾 和毅              |  | 〒816-0922<br>福岡県大野城市山田3-12-1<br>(電話) 092-581-7435 |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 分野             | 認定課程名   | 認定学科名                     |              | 専門士                | 高度専門士  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 工業             | 工業専門課程  | 自動車整備科                    |              | 平成7年文部科学省<br>告示第7号 | -  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 学科の目的          | 即戦力としての知識・技術を習得、コミュニケーション力や社会人マナーに優れ、業界で働く覚悟を持った人材の育成をする。併せて、整備士養成機関としての使命を果たすべく、二級自動車整備士資格の全員取得を教育目的とする。   |                           |              |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 認定年月日          | 平成28年2月29日  |                           |              |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 修業年限           | 昼夜  | 全課程の修了に必要な<br>総授業時数又は総単位数 | 講義           | 演習                 | 実習   | 実験  | 実技  |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 2年             | 昼間  | 2334時間                    | 958時間        | 0時間                | 1376時間   | 0時間   | 0時間 |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 生徒総定員          |   | 生徒実員                      | 留学生数(生徒実員の内) | 専任教員数              | 兼任教員数  | 総教員数  |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 120人           |   | 96人                       | 1人           | 7人                 | 0人   | 7人  |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 学期制度           | ■前期: 4月1日～9月30日<br>■後期: 10月1日～3月31日   |                           |              | 成績評価               | ■成績表: 有<br>■成績評価の基準・方法<br>中間試験と期末試験。評価方法は5段階評価。<br>5:85点以上 4:70点以上 3:45点以上 2:30点以上 1:30点未満<br>所定の成績取得科目を取得し、出席すべき日数の出席率が90%以上であること。<br>学生納付金を納めていること。卒業については、更に、国土交通省が定める規定の時間を満たしていること。   |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 長期休み           | ■春季:3月下旬から4月上旬に10日間程度<br>■夏季:7月下旬から8月下旬に30日間程度<br>■冬季:12月下旬から1月上旬に14日間程度  |                           |              | 卒業・進級条件            |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 学修支援等          | ■クラス担任制: 有<br>■個別相談・指導等の対応<br>学生の諸状況の早期把握、保護者との連帯強化により早期対応に努めている。出席状況や成績を保護者に通知し情報の共有化に努めている。   |                           |              | 課外活動               | ■課外活動の種類<br>無<br>■サークル活動: 有  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 就職等の状況※2       | ■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生)<br>メーカー系自動車販売会社 自動車整備業界<br>■就職指導内容<br>履歴書の書き方、模擬面接、外部講師による一般常識<br>■卒業生数 47 人<br>■就職希望者数 46 人<br>■就職者数 46 人<br>■就職率 : 100 %<br>■卒業者に占める就職者の割合 : 97.9 %<br>■その他<br>・進学者数: 0人<br>(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)   |                           |              | 主な学修成果(資格・検定等)※3   | ■国家資格・検定/その他・民間検定等<br>(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二級ガソリン自動車整備士</td> <td>②</td> <td>47人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>二級ジーゼル自動車整備士</td> <td>②</td> <td>47人</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。<br>①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの<br>②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの<br>③その他(民間検定等)<br>■自由記述欄<br>第32回全国トヨタカローラ<br>サービス技術コンクール第3位(卒業生) |   |     | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | 二級ガソリン自動車整備士 | ② | 47人 | 44人 | 二級ジーゼル自動車整備士 | ② | 47人 | 44人 |
| 資格・検定名         | 種   | 受験者数                      | 合格者数         |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 二級ガソリン自動車整備士   | ②   | 47人                       | 44人          |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 二級ジーゼル自動車整備士   | ②   | 47人                       | 44人          |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 中途退学の現状        | ■中途退学者 7 名 ■中退率 7.1 %<br>平成28年4月1日時点において、在学者98名(平成28年4月1日入学者を含む)<br>平成29年3月31日時点において、在学者91名(平成29年3月31日卒業生を含む)<br>■中途退学的主要原因<br>経済的理由、学習意欲の衰退、進路変更等<br>■中退防止・中退者支援のための取組<br>家庭の経済的環境の変化に対しては、奨学金、教育ローン等の紹介や学費分納制度などにより対応している。学習意欲の衰退については、学生の諸状況の早期把握、学生との面談、保護者を含めた面談などにより対応している。 |                           |              |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 経済的支援制度        | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有<br>特待生制度、指定校制度、三級自動車整備士有資格者優遇制度、既卒者優遇制度、兄弟姉妹・親子支援制度<br>■専門実践教育訓練給付: 非給付対象   |                           |              |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 第三者による学校評価     | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無   |                           |              |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |
| 当該学科のホームページURL | <a href="http://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/">http://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/</a>   |                           |              |                    |  |   |     |        |   |      |      |              |   |     |     |              |   |     |     |

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分に活かしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

- ・学校評価実施規程第11条
- ・校務運営規程第5章 教育課程編成委員会第9条
- ・校務運営規程第7章 校務分掌第12条二項

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年10月1日現在

| 名前     | 所属                                      | 任期                           | 種別 |
|--------|---|------------------------------|----|
| 奥 和昭   | トヨタカローラ福岡株式会社<br>人材開発部 採用・教育グループ グループ長  | 平成28年6月1日～<br>平成30年3月31日(2年) | ③  |
| 西村 努   | トヨタカローラ福岡株式会社<br>営業支援部 総合営業企画グループ グループ長 | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) | ③  |
| 岸原 武志  | 一般社団法人福岡県自動車整備振興会<br>指導部長               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) | ①  |
| 矢ヶ部 友則 | 西鉄自動車整備専門学校 教頭                          | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |    |
| 目原 宏輝  | 西鉄自動車整備専門学校<br>就職課・教務課 係長               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |    |
| 阿納 弘道  | 西鉄自動車整備専門学校<br>総務課・教務課 係長               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |    |
| 浅井 朋晃  | 西鉄自動車整備専門学校<br>広報課・教務課 主任               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |    |

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年度内に2回以上実施する。(教育課程編成委員会規程第4条4)

(開催日時)

第1回 平成29年 9月 5日 16:00～16:50

第2回 平成29年 9月26日 13:00～13:50

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・他社のインターンシップ受入れ企業ではどのような内容で体験・実施しているのか、企業側にも情報提供をすることにより実習プログラムを充実させることになる。積極的な情報提供を行ってほしい。

→実作業体験(点検、オイル交換、タイヤ交換、タイヤ空気圧調整、バッテリー点検、ブレーキフルード補充、部品庫の管理、洗車、お見送り等)が教育効果が高くモチベーションの向上にもつながるので、企業間による教育内容の差が出ないよう、学生達のレベルに合わせた一定基準のインターンシップ体験プログラムを作成し企業側へ提供する。また、インターンシップ実施前教育を導入し、一通りの実習体験を行う。更に、インターンシップの検証を学生自身がを行い、その内容を企業側にフィードバックするなど、企業と連携していく。

・怪我に対する意識や安全意識を持たせるために、実習前にラジオ体操を行ってはどうか。

→ストレッチ等、準備運動を行う方向。オリジナルプログラムを構築し、安全意識を高めていく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育に理解があり、後継者育成の一環として技術等を学ぶ学生に実務の経験を積極的に提供し、学習成果の評価を行う体制を取ることが可能な企業を選定する。今後は、学校が教育している技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業へ拡大していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、教務課が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者との情報交換を行う。  
実習終了時には、実習担当者による学生の学修成果の評価をふまえ、担任が成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名   | 科目概要   | 連携企業等   |
|-------|--|---|
| 企業実習Ⅰ | 企業採用担当者の方から社会人としてのマナー、心構え等を説明していただき、働くことの意味、仕事に対する理解を深め、就職に対する意識を早期に持たせる。夏季に行う企業実習に対する注意点などを事前に説明する。               | トヨタカローラ福岡(株)  |
| 企業実習Ⅱ | 授業で学習した知識と実技の一体化を図ることを目的とする。また、現場を経験することにより社会人としての厳しさを意識させるとともに基本的な業界の知識、顧客サービスや整備技術の習得を目的とする。                     | トヨタカローラ福岡(株)<br>日産プリンス福岡販売(株)<br>福岡日産自動車(株)<br>九州マツダ(株)<br>(株)ホンダカーズ福岡<br>ホンダカーズ佐賀(株)<br>(株)ホンダカーズ中央佐賀<br>西鉄エム・テック(株) |
| 企業実習Ⅲ | 夏季の企業体験で学んだことを踏まえ、就職活動についてより実践的な講義、ロールプレイングを行い、学生の仕事に対する意識、覚悟を高める。また、企業の評価について検証を行い課題を認識し、改善を図る。                   | トヨタカローラ福岡(株)  |
| 企業実習Ⅳ | 日産EV(電気自動車)リーフ等を学校に持ち込んでいただき、最新技術や環境問題等を理解する。また、現役メカニックと一緒に実習体験を行うことで、お客様のお車の取扱い方など整備士という仕事の心遣い等の意識を高めていくことを目的とする。 | 日産自動車(株)<br>九州日産(株)<br>日産プリンス福岡販売(株)<br>福岡日産(株)   |
| 企業実習Ⅴ | マツダの最新自動車CX-5やロードスターを学校に持ち込んでいただき、最新技術や安全性能を知る。また現役メカニックの技術を間近で見たり、一緒に点検・整備等を実習体験を行うことで、自動車整備に対する意識を高めていくことを目的とする。 | マツダ(株)<br>九州マツダ(株)  |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

職務の遂行に必要な知識及び技術等を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力および資質等の向上を図る。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

| 実施日                 | 主催及び研修対象               | 研修内容  |
|---------------------|------------------------|---|
| 8月4日(木)             | (株)バンザイ<br>○研修対象:教員    | 「これからの車体整備の問題点」<br>進化する車造りと、それに対応するための車体整備技術3次元マルチアライメント計測システムの使用方法・使用例 |
| 8月4日(木)～<br>8月5日(金) | マツダ(株)<br>○研修対象:教員     | 「第6回マツダSKYACTIVE技術セミナー」<br>マツダ自動車の性能・技術Gコントロールシステムの理解と習得。               |
| 8月5日(金)             | いすゞ販売(株)<br>○研修対象:教員   | 「エアブレーキの仕組み」<br>エアブレーキの最新技術、仕組みを理解し授業に役立てる。                             |
| 8月18日(金)            | 福岡トヨペット(株)<br>○研修対象:教員 | 「新型プリウス技術研修会」<br>新型プリウスに採用された最新技術、トヨタの予防安全技術の理解と習得。                     |

|           |                            |   |
|-----------|----------------------------|---|
| 10月14日(金) | (社)福岡県自動車整備振興会<br>○研修対象:教員 | 「整備主任者法令研修会」<br>自動車整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。           |
| 11月10日(木) | (社)福岡県自動車整備振興会<br>○研修対象:教員 | 「整備主任者法令研修会」<br>自動車整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。           |
| 1月11日(水)  | (社)福岡県自動車整備振興会<br>○研修対象:教員 | 「自動車検査員法令研修会」<br>自動車整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策及び自動車検査業務を授業に役立てる。 |
| 2月6日(月)   | (社)福岡県自動車整備振興会<br>○研修対象:教員 | 「自動車検査員法令研修会」<br>自動車整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策及び自動車検査業務を授業に役立てる。 |
| 2月17日(金)  | (社)福岡県自動車整備振興会<br>○研修対象:教員 | 「自動車検査員法令研修会」<br>自動車整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策及び自動車検査業務を授業に役立てる。 |
| 3月2日(木)   | (社)福岡県自動車整備振興会<br>○研修対象:教員 | 「整備主任者技術研修会」<br>自動車に搭載される新機構の構造・機能及び故障診断方法を理解し授業に役立てる。      |

## ②指導力の修得・向上のための研修等

| 実施日                   | 主催及び研修対象                               | 研修内容  |
|-----------------------|--|---|
| 7月25日(月)～<br>7月28日(木) | JAMCA全国自動車大学校・整備<br>専門学校協会<br>○研修対象:教員 | 「第20回(平成28年度)JAMCA教職員夏季研修会」<br>学生の心理を理解し、指導方法とコミュニケーションの技法を習得し、学生の教育・指導に役立てる。           |
| 8月17日(水)              | (社)福岡県専修学校各種学校協会<br>○研修対象:教員           | 「平成28年度アドラー心理学を活用した中堅教員研修」<br>アドラー心理学を理解し、その活用により学生の心理、学習環境の整え方を習得し、退学防止とクラス経営のスキルを上げる。 |

## (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

| 実施日      | 主催及び研修対象                  | 研修内容   |
|----------|---------------------------|--|
| 7月25日(火) | (財)日本経営教育センター<br>○研修対象:教員 | 「粉じん作業特別教育」<br>粉じんを伴う作業における知識・法令を学び、作業時における身体の保護方法を習得する。                   |
| 7月26日(水) | (財)日本経営教育センター<br>○研修対象:教員 | 「自由研削用といしの取替え等の業務に係る特別教育」<br>自由研削用といしに係る知識・法令を学び、といしの取付け等における身体の保護方法を習得する。 |
| 8月1日(火)  | マツダ(株)<br>○研修対象:教員        | 「第7回マツダSKYACTIVE技術セミナー」<br>クリーンディーゼルエンジン、マツダの先進安全技術及びエーミング作業方法の理解と習得。      |
| 8月4日(金)  | (株)バンザイ福岡<br>○研修対象:教員     | 「先進安全自動車(ASV)エーミングセミナー」<br>先進安全自動車(ASV)システム、新型プリウスでのエーミング作業方法の理解と習得。       |

## ②指導力の修得・向上のための研修等

| 実施日                     | 主催及び研修対象                  | 研修内容   |
|-------------------------|---------------------------|--|
| 11月14日(火)～<br>11月15日(水) | ラーニングシステムズ(株)<br>○研修対象:教員 | 「戦略的営業活動コース」<br>学生の抱えている問題を的確に把握し、信頼関係をつくることの重要性や方法を理解・習得し今後の教育・指導に役立てる。 |

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取組を促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目    | 学校が設定する評価項目   |
|----------------|---|
| (1) 教育理念・目標    | ・ 育成人材像と関連業界ニーズとのマッチング<br>・ 理念等の達成に向けた特色ある活動  |
| (2) 学校運営       | ・ 運営環境の整備   |
| (3) 教育活動       | ・ 教育課程の編成方針<br>・ キャリア教育の評価、方針の策定<br>・ 資格取得に対する体制構築<br>・ 資格取得に対する支援体制<br>・ 教育到達レベルの明確化 |
| (4) 学修成果       | ・ 就職率の向上体制<br>・ 卒業生の社会的評価の把握  |
| (5) 学生支援       | ・ 留学生に対する体制の整備<br>・ 保護者との連携体制   |
| (6) 教育環境       | ・ 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制  |
| (7) 学生の受入れ募集   | ・ 学生募集活動  |
| (8) 財務         | ・ 学校の財務基盤体制<br>・ 予算、収支計画の適正性<br>・ 会計監査<br>・ 収支状況の公開体制                                 |
| (9) 法令等の遵守     | ・ 法令に基づく学校運営  |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | ・ 社会貢献、地域貢献の実施<br>・ ボランティア活動の奨励と支援  |
| (11) 国際交流      | ・ 留学生の受入れ、実施状況<br>・ 国際交流の取り組み   |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・ 卒業生を支援するシステムの構築が望まれる。  
→ ホームページに卒業生がアクセスできるサイトを設置し、卒業後のフォローアップ講座等の案内を行うなど、システムを構築中。
- 卒業生実態調査のための就職先アンケート調査を実施。
- ・ 学生の基礎学力向上についての対応に期待する。  
→ 自動車整備士に特化したeラーニングを導入して自習ができる体制を構築し、基礎学力の向上に努めている。
- ・ インターンシップ企業の拡大を図るなど、教育機会の充実を図る。  
→ 企業の協力により、提携先の拡大を図ることができた。企業間による教育内容の差がでないよう改善を図る。

## (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年10月1日現在

| 名前     | 所属                                      | 任期                           | 種別        |
|--------|---|------------------------------|-----------|
| 奥 和昭   | トヨタカローラ福岡株式会社<br>人材開発部 採用・教育グループ グループ長  | 平成28年6月1日～<br>平成30年3月31日(2年) | 自動車<br>業界 |
| 西村 努   | トヨタカローラ福岡株式会社<br>営業支援部 総合営業企画グループ グループ長 | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) | 自動車<br>業界 |
| 岸原 武志  | 一般社団法人福岡県自動車整備振興会<br>指導部長               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) | 業界<br>団体  |
| 井上 武之  | 篠栗町教育委員長                                | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) | 校長<br>経験者 |
| 木下 泰秀  | 九州日野自動車株式会社<br>福岡支店 総務課 課長              | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) | 卒業生       |
| 椎葉 小夜子 | 西鉄自動車整備専門学校<br>理事・校長                    | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |           |
| 矢ヶ部 友則 | 西鉄自動車整備専門学校 教頭                          | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |           |
| 目原 宏輝  | 西鉄自動車整備専門学校<br>就職課・教務課 係長               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |           |
| 阿納 弘道  | 西鉄自動車整備専門学校<br>総務課・教務課 係長               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |           |
| 浅井 朋晃  | 西鉄自動車整備専門学校<br>広報課・教務課 主任               | 平成29年4月1日～<br>平成31年3月31日(2年) |           |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

## (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( )

公表時期: 10月

URL: <http://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

## (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携及び協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

## (2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目          | 学校が設定する項目                            |
|--------------------|--------------------------------------|
| (1) 学校の概要、目標及び計画   | ・建学の精神 ・教育方針<br>・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革 |
| (2) 各学科等の教育        | ・収容定員 ・カリキュラム<br>・資格                 |
| (3) 教職員            | ・教員の担当科目                             |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | ・キャリア教育 ・企業実習<br>・就職支援               |
| (5) 様々な教育活動・教育環境   | ・学校行事                                |
| (6) 学生の生活支援        | ・学生支援(健康診断、学生相談等)                    |
| (7) 学生納付金・修学支援     | ・学生納付金<br>・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)       |
| (8) 学校の財務          | ・収支状況                                |
| (9) 学校評価           | ・自己点検・評価、学校関係者評価の結果                  |
| (10) 国際連携の状況       |                                      |
| (11) その他           |                                      |

※(10)及び(11)については任意記載。

## (3) 情報提供方法

URL: <http://www.nishitetsu-seibi.ac.jp>

広報誌等の刊行物: 学校案内・募集要項

## 授業科目等の概要

| (工業専門課程 自動車整備科) 平成28年度 |      |      |             |                                  |            |              |             |      |    |          |    |    |    |    |         |
|------------------------|------|------|-------------|----------------------------------|------------|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類                     |      |      | 授業科目名       | 授業科目概要                           | 配当年次・学期    | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
| 必修                     | 選択必修 | 自由選択 |             |                                  |            |              |             | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○                      |      |      | ガソリンエンジン構造  | ガソリンエンジンの構造、作動について理解する           | 1通         | 45           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | ディーゼルエンジン構造 | ディーゼルエンジンの構造、作動、関連部品等の構造、作動を理解する | 1 2<br>後 前 | 50           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | シャシ車体構造     | シャシ関連の部品の構造、作動等を理解する             | 1通         | 130          |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | 電装品構造       | 電気の基本と電装品の構造、作動を学ぶ               | 1通         | 83           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | 特殊機構        | エンジンの電子制御システムやハイブリッド自動車のシステム等を学ぶ | 2前         | 40           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | 自動車の力学・数学   | 自動車整備などに関する計算問題を理解する             | 1 2<br>通 前 | 52           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | 電気・電子理論     | 半導体の基本と通信システムを学び理解する             | 1後         | 27           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | 材料          | 自動車に使われている材料の特徴、材質、用途などを理解する     | 2前         | 25           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | 燃料・潤滑剤      | 自動車に用いられる燃料や油脂類の種類、性質、特徴などを学ぶ    | 1前         | 30           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | 図面          | 製図が使われる記号や用いられるルール等の基礎を学ぶ        | 2前         | 16           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |
| ○                      |      |      | ガソリンエンジン整備  | ガソリンエンジンの構造、作動等を確認し、点検整備法を学ぶ     | 2前         | 32           |             | ○    |    |          | ○  |    | ○  |    |         |

|   |  |             |                                   |       |     |  |   |  |  |   |   |  |   |  |   |   |   |  |
|---|--|-------------|-----------------------------------|-------|-----|--|---|--|--|---|---|--|---|--|---|---|---|--|
| ○ |  | ジーゼルエンジン整備  | ジーゼルエンジンの構造、作動等を確認し、点検、整備法を学ぶ     | 2前    | 30  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | シャシ車体整備     | シャシ関係の部品の構造、作動を確認し、点検、整備法を学ぶ      | 2前    | 40  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 電装品整備       | 電装品の構造等を確認し、点検、整備法を学び実践につなげる      | 2前    | 40  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 故障原因探究      | 各装置の故障現象とその診断について学び理解を深める         | 1 2後前 | 76  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 整備作業機器      | 自動車整備に使われる整備機器とその使用方法について学ぶ       | 1前    | 12  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 測定機器        | 自動車整備で使われる測定機器とその使用方法、数値の読み取り方を学ぶ | 1前    | 12  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 検査機器        | 自動車整備で使われる検査機器とその使用方法について学ぶ       | 1後    | 12  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 自動車検査       | 自動車の定期点検に関する法令を学ぶ                 | 1 2後前 | 30  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 自動車整備に関する法規 | 道路運送車両法や法安基準など整備士として必要な法令関係を学ぶ    | 2前    | 30  |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  |   |   |   |  |
| ○ |  | 安全管理        | 整備作業をする上での安全対策について学ぶ              | 1通    | 5   |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  | ○ | ○ |   |  |
| ○ |  | 工場管理        | 工場内の各設備の取り扱い等を学ぶ                  | 2後    | 7   |  |   |  |  | ○ |   |  | ○ |  | ○ | ○ | ○ |  |
| ○ |  | 社会          | 社会人としてのマナーなど知識全般を身につける            | 1 2通通 | 110 |  | ○ |  |  | ○ |   |  | ○ |  | ○ | ○ |   |  |
| ○ |  | 体育          | 校外での行事を通してリレーションを構築する             | 1 2前前 | 24  |  |   |  |  | ○ |   |  | ○ |  | ○ | ○ |   |  |
| ○ |  | 手仕上げ工作      | 工作機器について知り、実際に使って作業をする            | 1前    | 12  |  |   |  |  | ○ | ○ |  | ○ |  | ○ |   |   |  |

|    |  |                                |                                   |            |               |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |
|----|--|--------------------------------|-----------------------------------|------------|---------------|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|
| ○  |  | 機械工作                           | 溶接機器について知り、実際に使って作業をする            | 1<br>前     | 11            |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | 基本計測                           | 自動車整備に用いられる測定具を知り、実際に使いこなす        | 1<br>通     | 52            |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | ガソリン<br>点検・分解・<br>組立・調整・<br>検査 | ガソリンエンジンや部品の分解、点検組立てなどの実習を行う      | 1 2<br>通 通 | 270           |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | ジーゼル<br>点検・分解・<br>組立・調整・<br>検査 | ジーゼルエンジンや部品の分解、点検組立てなどの実習を行う      | 1 2<br>通 通 | 180           |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | シャシ<br>点検・分解・<br>組立・調整・<br>検査  | シャシ関係の部品の分解、点検組立てなどの実習を行う         | 1 2<br>通 通 | 307           |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | 電装品<br>点検・分解・<br>組立・調整・<br>検査  | 電装品の分解、点検、組立て、電気装置のシステム点検などの実習を行う | 1 2<br>通 通 | 225           |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | 故障原因探究                         | 自動車に発生した故障を診断し修復作業を行う             | 1 2<br>通 通 | 230           |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | 自動車<br>検査作業                    | 自動車が保安基準に適合するか検査ラインで完成検査を行う       | 1 2<br>後 通 | 65            |  |  |  |  | ○ | ○ |   | ○ |   |   |
| ○  |  | 企業体験実習                         | 企業での社会体験を通して実際の仕事を体感する            | 1<br>通     | 24            |  |  |  |  | ○ | ○ | ○ |   | ○ | ○ |
| 合計 |  |                                |                                   | 34科目       | 2334単位時間( 単位) |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |

| 卒業要件及び履修方法   |  | 授業期間等     |     |
|--|--|-----------|-----|
| 国土交通省の規定のもと、学科（講義）600時間以上、実習1200時間以上の受講<br>学生の受講時間不足を予め見込んで、規定時間に多少の時間を上乘せし総時間を増やした。 |  | 1 学年の学期区分 | 2期  |
|  |  | 1 学期の授業期間 | 17週 |

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。